

無上山 法王寺 本堂

寺院紹介は4P

空知南組

組報

第 7 号

1989年11月1日 発行

4年総括

空知南組々長 杉田 英明



自ら省て、調達閣世の如き私が、はからずも御門主御継職時に立てられた宗門長期展望計画、最後第3期目の四年間の組長事務を務めさせていただく事になり、今組報担当氏に総括の一文を記せとの言葉に接し、全く感慨無量であります。

組内各位様には、色々の意味で衷心御礼を申し上げ、又種々の御迷惑等に対しましては心よりお詫びを申し上げたいと存じます。殊に空南会会員諸氏に対しましては、心更に切であります。有難うございました。

前組長靈山氏の御盡力されたお金をとりくずし、組に恐慌を呼んだことを思えば、全く自らの策の如き尻抜け生活のしからしむところであり、申し訳なく存じております。

ともあれ、連研の継続・組報の発行・テレフォン法話の希望実現・組日校連協組織の誕生等、期間中の諸経過及び出来事等に免じてお許しただきたいと存じます。

世挙げて一層複雑混迷の様相あり、我々の課題も焦眉の急、深刻と受けとめさせていただきたいと存じます。宗門が隣接地を取得し一応四百年記念法要に目標を置き、基幹運動の名の下に活動されておりますが、これ二十一世紀を目途の対社会的そしてグローバルな極めて野心的運動と理解し、我々も精進努力致したいものであります。

果し得ぬ、希望的私的組の課題としては ①住職連研の必要性 ②総代研修の充実 ③仏婦ダーナに象徴される対社会への積極性 ④常例線の自主的計画と実践 ⑤連研終了者アフターケアの問題 ⑥退任諸先輩との協調行事の定着化 ⑦組基推委の有機機能発展等々が考えられなければならないのではないかと等、愚考しました。

花卉 佳哉 楳杵 感心

西願寺住職 西川 宗一

高田本山専修寺蔵の教行信証に次の記載があります。

親鸞御入滅弘長二歳壬戌十一月廿八日午時
御年九十歳也

同廿九日午時 專信 遠江國池田住僧

顯智 下野國高田住僧 御舍利蔵畢

このことから親鸞聖人は御往生の日の二十八日夜葬送されたであろうと想像されますが、こまかな様子はわかりません。一方、存覚さまの袖日記に、覺如上人の葬儀について、

一 式八太祖ノ行装ヲマネヒテ、揚輿、先ニ松明一对、火ノ番赤衣四人也。焚香 從覺 俊玄 予 乘專

上足より次第。

一 拾骨、取収カメニ入ル、勤行 礼讃無常偈 以
このことから、当時の葬儀は礼讃を儀式にしていたのでないかと想像する人がいます。

とところで、西本願寺蔵善信上人絵巻（琳阿本）には、下巻六段に、葬列の先頭と火葬の正面とに鈴（りん）を打つ僧が描いてあります。これを今昔物語（巻廿七、三十六話）とかさねてみますと、

西ノ方ニ金ヲタタキ、念仏ヲシテ、アマタノ人ハルカヨリ来ル音アリ。男イトアヤシク思ヒテ、来ル方ヲ見ヤレバ、オホクノ人オホクノ火ドモヲトモシツレテ、僧ドモナドアマタ金ヲ打チ、念仏ヲ唱へ、只ノ人ドモオホクシテ来ルナリケリ。慚ク近ク来ルヲ見レバ、「早く葬送ナリケリ」ト見ルニ、

このように、金（鈴）と念仏とが不可分の関係にあって、葬送を行っていたことがわかります。善信上人絵巻も、念仏のさまを鈴を打つ僧の姿で描いて見せたと思わねばなりません。

この念仏は二十五三昧の系統を引く念仏で臨終に際し、往生

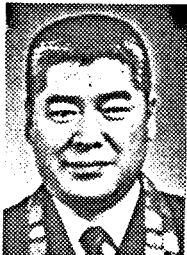
をあやまらせぬため、病人の枕頭で行った念仏です。それが、拡大され葬儀終了まで唱えられ、るように変化したのが、当時の習俗でした。善信上人絵巻で火葬の正面の鈴打つ僧は火葬の間休みなく念仏している様子を描写したものです。覺如上人の拾（取）骨に唱えられた無常偈は、現在の回向にあたるものとして唱えられたのでしよう。長い念仏の最後をしめくくる文句として、日没の無常偈などふさわしかったことでしょう。この念仏は後に路（時）念仏として本願寺に伝えられました。大谷派ではまだ残っていますが、戦後、西本願寺からなくなったのは残念なことでした。

● ビハーラ実践 ●

● 弟子羽白に参加して ●

賢誠寺住職 吉野 顯隆

平成元年五月より第三期ビハーラ実践活動に参加しています。私がビハーラ活動に参加



加しようと思つた動機は、僧侶として私のまわりに居る老人や病氣の人達のお手伝いをしたいと思つたからです。ビハーラ活動の実践者育成の目標は、病院・施設・家庭にかかわらず、病床に伏す全ての人々や家族等のために、精神的介護ができる能力の習得に努める。またその内容は、御協力いただいた病院・施設に行き、医療現場の見学、医療、福祉関係者とのミーティング、法話会、病室訪問、話し相手、カウンセリング等を体験し、実践能力を身につける二年間の養成です。参加しての感想は、老人や病人のお手伝いをするという動機が、何と自分の思い上がりであったか知らされました。何の知識もない私が、苦しんでいる人へ安らぎを与えて行こうという自力作善が粉々につぶされてしまいました。龍大教授で医学博士の奈倉道隆先生は、ビハーラ活動とは老・病・死の苦しみを分け合い、如来の子として如来から救われた私がかえしをする（いのち）をさ

さえる念仏者の報謝行がビハラーであると言う、あたたかい言葉をいただきました。私のいのちをささえてくれる如來が、私のために与えてくれたビハラー活動を通して、毎日の法務の中でへあたりまえのことに無条件でやれる実践活動に精進させていただきます。

最後に今、北海道教区社会福祉協議会に「北海道ビハラーの会」が発足活動しています。組内の皆様の御参加をお願い致します。

合掌

※完工南口校連協
発足足にあたり
つて※

常光寺坊守 杉田 琉子
空知南組日曜
学校連絡協議会
が、本年6月9
日組内の関係あ
る若様方のお力
により、発足する運びとなりまし
た。教区少年連盟45単位の中10単
位は南組です。組での研修会の現
状は、70名程の参加が見られるよ
うになりました。これからは一層
横のつながりを深め、より願われ
る在り方を指し、つとめて行き
たいと思います。一番年長である
ことと、ローテーションと云う事
で会長になってしまい当惑しまし
たが、よろしくお願い致します。



合掌

坊僧烈伝 空昭和史

大安寺前任職 河原 勇進
前坊守 みやゑ

水害は、村の記録によると六十六回とか言っ
てたな。年に三回浸いたこともある。うちの寺
は村で一番低い所にあるから。毎年くらのも
んですよ。春夏、秋と。春と言ってもまだ雪の
ある間にね。夏は梅雨時の集中豪雨。秋は秋雨
から。まるでアヒルみたいなもんだ。いっつも
水の中において。

昭和七年には一ヶ月浸いてたの。入ってきた
ら出ていくことを知らん水だから。本堂の中に
馬船が入ったんだもの。今もちゃんとしるし
についてますよ。高座の所に丸太を組んで、その
上にタタミを積んで建具をのせてました。タタ
ミあげるのいやだから。百枚からのタタミだか
らギリギリまで待ってて、いよいよ上がってき
たらそれって。

食事はお寺だから米あるし味噌あるし醤油あ
るし。もう水浸くっていったら、前もってカン
ズメを沢山買ってきておくの。いっつもだから
非常食として用意しておくの。そして縄二束ぐ
らいと釘類いっぱい、それと丸太、はざ木みた
いのをみんな家に入れておくの。内陣の方もみ
んな浸いたものですから、内陣の方でも高く積
んでその上で生活してました。なにしろそうな
ったら一番大事なのが飲み水。一ヶ月浸いた時
はイカダに樽乗せて雨水をためてたの。
昭和三十六年の時は、庫裡の一階が全部水没

もうちょっとで二階に浸くとこ。宮殿も二尺
ぐらい浸かって「仏さんも犬もいっしょだ」
って新聞に出たんですよ。ブタや七面鳥を飼
ってたんだけど、それを醤油樽と板戸で作っ
たイカダに乗せておくでしょ。そうするとだ
んだん上がってきて天井につかえるの。それ
でつぶれて死んでしまうから、屋根をはがし
て上にあげたの。

そういう非常時にはね、人口も少なかった
からあんまり死なないもんだわ。一人だけ死
んだか。川へ落ちて亡くなった事があるね。
葬式も何もあったもんでないさ。お経さんさ
えあがればいよいよなもんで、その時は。紙
を切って紙華花みたいのを作ってたさ、ダイコ
ンかゴシヨイモかなんかに刺して飾るでしょ。
蓮華みたいなのもけっこう作る、巧者なもん
いたよ。ヒマだからみんなで作ってたさ。それ
から納骨堂へ行って開けてみれば、お骨がみ
んな浮いててそれで
大騒ぎして。低い納
骨堂だったからね、
下から三段目まで水
が浸いたんですわ。
そしたらもうお骨が
混乱しちやって。

ほんとによく生き
てたもんだ。お寺だ
ったからここにずっ
といられたんですよ
おかげさまで。

(文責・神埜 真)



★上砂川鶴 西法寺では、内陣の莊嚴が整備され、6月10・11日多数の参詣の中、記念法要が厳修されました。

●次の寺院では、それぞれの事業が完遂されましたのでお慶びの気持ち添えて御紹介致します

◇長沼 誓報寺 新納骨堂完成
□栗沢 賢誠寺 庫裡新・改築

△幌向 本向寺 住宅新築
▽三笠 善行寺 庫裡増築

並びに境内地拡張
◆茶志内 法王寺では、9月9日門信徒の見守る中住職継職法要が厳修されました。

千ヨットい話し!

▲上幌向 隆王寺の家郷琴路様が得度式を受けられました。法名は釋承香。今後の御活躍を御期待申し上げます。

▼空南会（藤堂征彦会長・会員15名）一行10名が、10月14日札幌別院報恩講の初夜に出動致しました。

★五月会が、10月13日札幌別院報恩講の連夜に参拝致しました。

●オールドバアチャン会旅行が、10月6・7日夕張支笏湖方面に、8名の参加で開催されました。

★ 組の動き ★

「組・基推委」

◎Bブロック僧侶研修会 6月6・7日 於・岩

見沢ホテルサンプラザ 講師 松山 善照師 参加60名

「婦人部」

◎北ブロック仏婦大会 6月12日 於・蓮教寺

◎中ブロック仏婦大会 6月14日 於・静雲寺

◎南ブロック仏婦大会 6月19日 於・教覚寺

◎寺族婦人会総会 6月2日 於・函館

湯の浜ホテル

◎寺族婦人会研修会 9月29日 於・本向寺

◎仏婦連協研修会 10月30日 於・光明寺

◎五月会勉強会 年に5、6回の予定で続けられています。

「門信徒部」
◎仏壮研修会

7月16日 於・妙華寺
「青少年部」
◎第1回日曜学校研修会 7月9日 於・正教寺 東明公園

組の子守夜

◎仏壮10周年記念大会 11月19日

◎空南日校連協指導者研修会 11月下旬

◎組 総代会 12月

◎空南会総会 12月

◎第2回日曜学校研修会 3月中旬

「土寸陀陀切和介」
無上山 辻仏工土寸

◎開基：明治二十五年説教所開設の協議を経た上明治二十六年現有地に説教所建立

◎寺号公称：明治三十四年八月十日出願、同三十五年十一月十四日に認可

◎開基・山岸了観、二世・松山智教、三世・松山教恩、四世・松山宗生

◎沿革：明治三十二年本堂・庫裡完成。同四十二年本堂内部莊嚴に着手、大正三年十月完成。

○大正八年七月十六日・宗祖聖人六百五十回大遠忌法要を厳修。

編纂 佳集 後記

☆北海道はこれから厳しい冬を迎えようとする前触れかのように、各家庭の庭に美しい菊の花が見られる様になりました。☆過日、檀家詣りの折り、花畑から菊の花を切り取って数本戴きました。その方は菊を切りながら、丁度横の道が小学生の通学路となっている為、子供達がきれいだと思うのか、それともいたずらなのか、花が咲くとみんな頭をもぎ取って行ってしまふんだよ、と笑いながら云い、こんな所に花を植えておく方も悪いんだけれどもね、と言いながら手を動かしていました。☆今回も組報第7号お届けいたします。☆早いもので四年が経ちました。皆様の心暖まる記事提供の賜物と感謝しております。 (K・N)

組報に関する御意見・御希望等は組長事務所または広報委員まで御連絡下さい。
一九八九年十一月一日 発行
発行所 空知南組 組長事務所